



仙台防災未来フォーラム2026

東北大学 災害科学国際研究所

地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門



防災の国際標準化の取組

スマートコミュニティインフラにおける防災の課題

※ISO/TR 6030 調査結果とギャップ分析

社会実装の共通フレームワーク

ISO 37179 防災概念

ガバナンス

地域のマルチステークホルダー対話/リスク評価
リスクファイナンス/コミュニティの関与と参加/
災害情報の共有/政府間のデータ共有

ISO/DIS 37116 災害リスクファイナンス
ISO/AWI 37193 防災情報活用

予防フェーズ

危険の特定/災害の軽減/危険の監視、検出、予測

ISO 37174, ISO/CD37194 地震計の活用事例

事前準備・対応・より良い復興フェーズ

食糧安全保障/エネルギー安全保障/避難/
救助・緊急・消防用ドローン/緊急通信/食糧配給/
スマートで強靱な建物/公共空間/評価と監査

ISO/CD 23638 災害食の品質要求事項



※スマートコミュニティにおける防災の実装イメージ

準化の推進しています。2020年に国際規格の専門委員会に防災に関するワーキンググループ設置し、当研究所のメンバーがプロジェクトリーダーとして、先ず災害の種類や防災インフラの機能・活用を整理した技術報告書（TR6030）が発行され、この中で特に重要な防災の基本原則をまとめた「防災概念」国際規格（ISO37179）が発行されました。この日本提案による規格の下、リスクファイナンス規格

（ISO/FDIS 37116）、防災情報期規

格（ISO/CD 37193）、災害食規格（ISO/DIS 23638）、地震計規格

（ISO37174*、ISO/DIS 37194）が発行・開発され、活発な活動を展

開しています。

災害に強いインフラの敷設等、我が国の防災関連技術を、国外にも展開することで産業発展に貢献することを目指し、東北大学（当研究部門）が中心となって、防災に関する国際標